※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）美術研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・周囲と自分の関りや新たな気付きが表現につながることを留意しながら学習を進めます。
・形態や色彩の適切な捉え方や、材料や素材の使い方、使用方法を学びながら自己の表現力の向上を目指す学習活動を行います。
・作品完成後は振り返りレポートや相互評価を行い作品に対する客観的な視点や相互理解を深める学習活動を行います。

2　学習の到達目標

・造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、新たな視点や気付きをもって創造的に発想・構想し、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるとともに、他者の作品を認め相互理解を図ることで、自作品の客観的視点を養うことができる。
・主体的に美術の創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	形や色彩、材料や光などの造形的特徴をとらえて主題に沿った表現が行えているか、また材料や用具の特性を生かして表現方法を工夫しているかを評価します。	造形的な見方、考え方を働かせて感じたことや考えたことを創造的に表現出来ているか、また他者の作品の良さを理解し自身の作品への客観的視点が養えているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ミニチュアの世界の制作	1. アイデアスケッチ 自分が表現したい世界をイメージし、構想を練る。 2. 制作 アイデアスケッチをもとに制作を始める。 B3 パネルを土台とし、必要に応じて粘土や板、その他画材を使用する。 電動のこぎりや金槌、釘などを使用する場合は安全に留意する。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識） 形や色，材料などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，自己をあらわした作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 （技能）意図に応じて材料や用具を選択し，その特性を生かすとともに，表現の形態や方法を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。 b:（発想や構想）自己を見つめ，感じ取ったことや考えたことから主題を生成し，単純化や省略，強調，材料の質感や量感を生かした表現などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 （鑑賞）自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 c: 主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 制作作品	制作作品	制作作品 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	ミニチュアの世界の制作	1. 制作 1 学期に引き続き、制作を続ける。 B3 パネルを土台とし、必要に応じて粘土や板、その他画材を使用する。 電動のこぎりや金槌、釘などを使用する場合は安全に留意する。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識） 形や色，材料などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，自己をあらわした作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 （技能）意図に応じて材料や用具を選択し，その特性を生かすとともに，表現の形態や方法を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。 b:（発想や構想）自己を見つめ，感じ取ったことや考えたことから主題を生成し，単純化や省略，強調，材料の質感や量感を生かした表現などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 （鑑賞）自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 c：主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	制作作品	制作作品	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	BOXアート制作	1. アイデアスケッチ 自分が表現したい世界をイメージし、構想を練る。 2. 制作 アイデアスケッチをもとに制作を始める。 指定の箱に、必要に応じて様々な画材を使用する。 3. 鑑賞 お互いの作品を振り返りシートをもとに発表しあい、作者の意図や表現の工夫などについて共有する。	a:（知識） 形や色，材料などが感情にもたらす効果や，造形的な特徴などをもとに，自己をあらわした作品を，全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 （技能）意図に応じて材料や用具を選択し，その特性を生かすとともに，表現の形態や方法を工夫し，主題を追求して創造的にあらわしている。 b:（発想や構想）自己を見つめ，感じ取ったことや考えたことから主題を生成し，単純化や省略，強調，材料の質感や量感を生かした表現などについて考え，創造的な表現の構想を練っている。 （鑑賞）自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え，見方や感じ方を深めている。 c: 主体的に自己をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り，作者の意図や作品に込められた思いなどについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 制作作品	制作作品	制作作品 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度